

千葉地本第77回定期地方大会 Part2

寺林さんが代議委員として発言・機関紙コンクール「新保ニュース」優秀賞！

9月9日 土 10時30分 千葉市民会館3F にて開催

寺林さんが代議委員として発言

■組織拡大の取り組みについて

2年ぶりに1名の高卒採用者が西船橋保線技術センターに配属されたが、5月25日に組合説明会を開催し「労働組合の重要性」を伝えた。



■分会再編について

旧新小岩保線分会の組合員は現在11名。1年半後にはJR本体に国労組合員がいない。それを考慮しながら分会の統合がどうしても必要となり、以前の7つの分会を統合して新たな分会『千葉設備分会』が今年7月8日に結成されたが、新たな分会においても若手社員の不平不満の声を聴きながら定年まで安心して働き続けられる職場を目指す。

■エルダー制度問題について

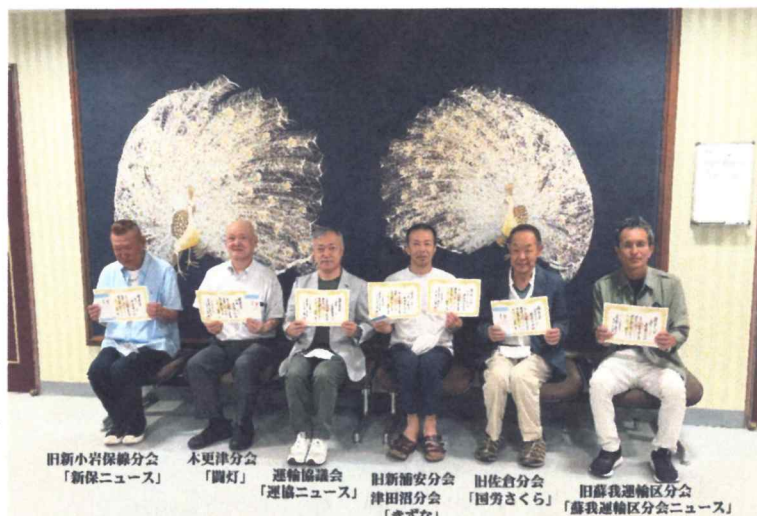
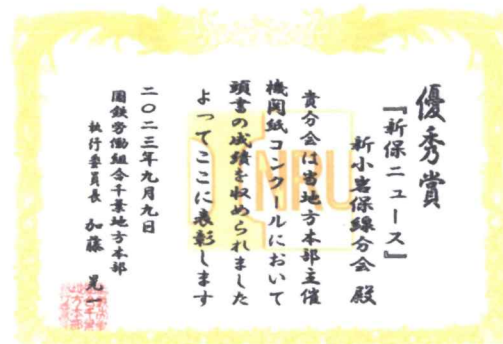
今までは原則出向だったのが「JR本体に技術継承として残ってもらうこともある」とエルダー枠を広げていたが今は違う。出向先はJR本体と比べ、過酷な労働環境に置かれ、皆が「人手不足で体力的にも精神的にきつい」と訴えている。そういった状況下で「職場から声を上げ、カーテンとベットなどを新しいものに交換してもらう」という報告があった。今年6月にエルダー社員として出向した仲間がいた。「断われれば他はない」と言われ、民間の警備会社に行かざる得えなくなった。JR現役は北海道の実家に母親が1人暮らしなので2ヶ月に1回程度帰省していたが、その年休を引続き申告した際に「この会社はJRと違い、中小企業なので年休を取らないでほしい」と拒否されたそうだ。勤務は朝7時30分から翌朝の7時30分の12時間拘束だが「夜勤者との引継

ぎ」で始業時間より25分早い7時5分まで出勤してミーティングをしているが、その分の超勤手当は支払われず、さらに特休での非番扱いが多く、それが週40時間以上の勤務になっているので出向先の人に相談したそうだが「それが当たり前、休むと誰かがもっと大変になる」と言われ7月末、早朝の警備巡回中に倒れ、今は病欠である。と発言されました。

「新保ニュース」優秀賞に輝く

今年度の機関紙コンクールで旧新小岩保線分会機関紙「新保ニュース」が皆様のおかげで優秀賞に輝くことができました。有難うございます。

新保ニュースは2018年の2月の組織再編で新たな新小岩保線分会が発足後に創刊され、今日までに44号が発行されました。



第77回国労千葉地本定期大会 機関紙コンクール授賞式